



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

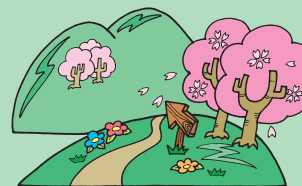
私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



医療センター公開空地の桜

### 第36号 目次

院長の言葉	1
就任挨拶	2
地域医療連携	3
病診連携施設紹介	
行事紹介	3
第6回公開医療講座の開催について	
卒業式 / 入学式	
平成23年度院内防災研修を開催しました	4
ニューフェイス挨拶	5
医師の人事異動	6
外来担当医表	7



発行月：平成24年4月  
 発行：独立行政法人国立病院機構  
 横浜医療センター 広報委員会  
 発行責任者：工藤 一大  
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
 電話：045-851-2621  
 FAX：045-851-3902  
 URL：<http://www.hosp.go.jp/~yokoham/>



当院携帯サイトはこちらから

## 院長の言葉

寒かった冬もようやく終わり桜咲く4月を迎えました。今年も80数名に及ぶフレッシュな看護師を迎え、また医師の増員・交代、そして10名の増員があったパラメディカルスタッフなど大勢の新たな仲間を迎えることとなりました。これらの仲間と共に地域の患者の皆様により貢献できる体制を整えてまいりたいと考えております。



院長 工藤 一大

昨年3月11日発生した東北地方太平洋沖地震においては、当院は幸いにも免震構造の新病院となっていたことからほとんど被害はありませんでした。しかしながら、3月14日からの計画停電の際には、7回に及ぶ停電を経験しましたが、病院職員一同一丸となって対応し何とか乗り切ることができました。今回の地震津波による被災地に当院からも医療援護班を派遣してまいりましたが、福島への医療班派遣は現在も継続中です。

平成22年4月に新生となった病院建物での診療を開始して2年が過ぎました。昨年度はCCU6床の新設、SCUの5床への増床と病院機能を拡充強化し、三次までの救急患者を引き受ける急性期型高度総合病院としてますます地域の方々や医療機関の期待に十分応えられる体制、設備を整えてまいりました。外来においては、ありがたいことに地域の診療所、病院からの紹介患者数が大幅に増加し紹介率は85%となり、手術件数も月間320件程度と大幅に増加しました。今年度はより一層の地域連携を深めていきます。

医療の質、安全の向上には職員数の増員も必要となります。医師、看護師以外の職種の人数はまだ十分ではありませんので、これらの充実に更に努力してまいりたいと考えております。全職員数も800人以上となります。大きな組織となりますので、職員間のコミュニケーションがより一層大事となります。コミュニケーションをよくする第一歩は声を出しての挨拶であると思います。院内で出会う全ての人と声を出しての挨拶を心掛けたいと思っております。患者の皆様からの声を集める「患者ご意見箱」からは、職員への感謝・激励が次第に増加してきておりうれしいのですが、改善を求める声も多く寄せられます。コミュニケーション不足が原因と考えられるご意見も多く、これらには真摯に反省しより良い病院をともに作り上げてまいりたいと思っております。我々の病院がより一層発展するように全員で努力をしてまいります。

当院の理念であります「患者中心の医療」、「地域完結型医療」、「地域で選ばれる病院」を目指して努力してまいりましたが、今年度も一層努力し、地域の関係医療機関や行政とも密に連携して「医療の質と安全」の向上に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



## 就 任 挨 拶

4月1日付で事務部長として埼玉県内の国立病院機構の病院より配置換となりました弓削（ゆげ）と申します。

私は、これまでに関東近郊の幾つかの国立病院機構の病院で勤務させていただいておりますが、それぞれ病院により診療機能が違うことから、おいでになる患者さんも様々でありました。また、病気の種類により治療方法等も当然違っておりましたが、患者さんに対する基本姿勢はどこの国立病院機構の病院も同じであり「患者の目線に立った懇切丁寧な医療の提供」を目指しておりました。患者さんの目線というのは高さが個々によって違うことから全ての方の目線に合わせるのには難しい面もありますが、私もこの横浜医療センターで出来る限り、おいでになる一人一人の患者さんの目線に合った医療が提供出来るよう頑張りたいと思っております。

また、当院は2年前に新しい建物になり、この地域における中核病院として救急医療を中心に診療機能やスタッフ数の強化を図ってきており、近郊の医療機関や患者さんからの期待も大きい病院と聞いております。私も、地域の皆様方からの要望に少しでも応えられるような病院にしていくため、微力はではありますが努力していく所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。



事務部長 弓削 智夫

はじめまして。前任の精神科部長・武川吉和先生にかわり、この4月に着任いたしました古野拓と申します。

私はこちらに赴任する前は、横浜市立大学附属病院精神科にて臨床に携わっておりましたが、今はまた新鮮な気持ちで、日々の診療に取り組んでおります。

地域の中核病院である横浜医療センターに赴任して、あらためて感じていますのは、精神科の診療における様々な連携、あるいは<つながり>の重要性と有り難さです。

治療においては何よりもまず、患者さんと治療者との間でのパートナーシップが不可欠なのは言うまでもありませんが、患者さんそれぞれの生活の場に根差したケアを行うためには、そのほかにも、地域のクリニックや精神科病院との連携、福祉との連携、他の診療科や他職種との連携といった、様々な<つながり>が大事になってきます。

そして、このような<つながり>の中で私たちは、地域で数少ない入院病床を有する総合病院精神科として、その役割をしっかりと担ってゆけるような診療体制づくりに努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



精神科部長 古野 拓

2012年4月より曾我隆義先生の後任としてリウマチ科に着任しました出口治子です。赴任前は、横浜市立大学附属市民総合医療センターに10年間勤務し、関節リウマチを含む膠原病内科の診療に携わってきました。近年、生物学的製剤をはじめとする抗リウマチ薬の進歩は目覚しく、早期診断・早期治療により寛解に至ることが可能です。特に発症早期の関節リウマチの診断が重要ですので、関節症状のある方には、ぜひリウマチ科受診をお勧め下さい。持続する発熱や皮疹・筋痛・リンパ節腫脹など、膠原病が疑われる方もお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。



リウマチ科部長  
山口 治子

# 地域医療連携

## 病診連携施設紹介

### カナイ眼科 診療科目：眼科

平成16年8月から横浜市営地下鉄立場駅の近くで眼科を開業しています。開業前に勤務していた横浜南共済病院および神奈川県立こども医療センターでの経験をもとに、開業後も子供の弱視治療から高齢者の白内障手術まで幅広い診療を行い地域医療に貢献したいと考えてきました。最近では近隣だけでなく深谷町や俣野町からも通院して下さる患者さんが増えています。

しかし何分小さな診療所ゆえに全身状態に問題がある患者さんや合併症がある白内障の手術は当科では難しく、基幹病院との連携は欠かせません。横浜医療センターは当科から交通の便が良く、難しい手術をいつもお願いしていますが、患者さんはみな非常に良好な結果で喜んで帰ってこられ、清水先生始め眼科スタッフの方々には大変感謝しています。また、脳神経外科や内科に関連した症状で眼科以外にも様々な科にお世話になる患者さんが多く、これからも横浜医療センターと良好な病診連携を続けていきたいと考えています。



後列左側 金井院長



### カナイ眼科

〒245-0016 横浜市泉区和泉町2860 - 1  
TEL : 045 - 806 - 4058

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30 ~ 12:30							/
午後 3:00 ~ 6:00				/	/	/	

手術 土曜9:30 ~ 13:00

休診日 木曜・日曜・祝日

## 行事紹介

### 第6回公開医療講座の開催について

地域中核連携係長 駒形 俊文

2月8日(水)に、音楽コンサートと医学講演のコラボレーション企画として、戸塚公会堂で開催しました。

第1部は「コール・しらゆり」による合唱と田辺さんによる独唱。第2部に「スギ花粉症について」と題して、横浜医療センター耳鼻咽喉科部長の佐々木医師による講演を行いました。

今回は、ケーブルテレビ会社「JCNよこはま」の取材を受け、地域情報チャンネル「デイリーよこはま」で公開講座の風景が翌日に放映されました。

当日は75名の方々が参加していただき、アンケートを答えてくださった方のほとんどが、講演内容はわかりやすかったと答えていただきました。

コール・しらゆり...横浜市内を中心に活動している女声合唱団。

田辺とおる...声楽を中心に幅広い活動を行い、コール・しらゆりの指導講師も務めている。



【第1部】音楽コンサート



【第2部】公開医療講座  
「スギ花粉症について」

# 行事紹介

## 卒業式

看護学校 教員 増山 玲子

平成24年3月2日に第47回卒業式が行われ73名の学生たちが多くの皆様に支えられ無事に母校から巣立って行きました。学生たちの日頃の行いが良かったせいか、当日は今にも降り出しそうであった雨も何とか式終了まではもちこたえてくれました。

来賓の皆様には温かい激励とお祝いの言葉を頂き、改めて看護師と言う仕事の責任の重さに身を引き締めて緊張していました。そして、皆様から頂いた言葉一つ一つの意味をかみしめながら、これから歩いていく看護師と言う道への責任と希望を胸に刻みそれぞれが笑顔で旅立って行きました。

これからは、社会人として、専門職業人として多くのことを学び、たくさんの困難や看護の喜びにあふれた看護師生活を歩いていくことでしょう。

まだまだ未熟で手のかかる新人看護師ですが、どうぞ温かく見守り成長の手助けをしていただけたらと思っております。



## 入学式

看護学校 教員 金井 千絵

桜も満開を迎えようとしている4月6日(金)に入学式が行われました。緊張した雰囲気の中、ひとりひとり担任より名前を呼ばれると看護師になるべく決意が込められたような返事をし、入学生として学校長より認証されました。

今年度は、入学生83名を迎え総勢251名となりました。新入生は50回生ということもあり、学校も半世紀を迎えようとしています。

今後は看護学生として専門的な知識や技術など新たな学習が始まります。楽しいこともあります。時には苦しく不安になることもあるかと思えます。そんなときは、彼らの目指す看護師に近づけることができるように私たち教職員一同努力していきたいと思えます。

皆様も50回生を今後も温かく見守りくださいますようお願いいたします。



## 平成23年度院内防災研修を開催しました

庶務班長 関口 実直

平成24年3月16日(金)に横浜医療センターにおける防災研修を開催いたしました。

横浜医療センターは、救命救急センターを有する災害拠点病院であり、東日本大震災を踏まえ、各職場での防災体制の確保、災害医療対応訓練の方法、等について、神奈川県災害拠点病院連絡協議会運営委員である当院副救命救急センター長 今泉医師により研修を行いました。病院職場長を対象に41名出席し、熱心に拝聴いたしました。



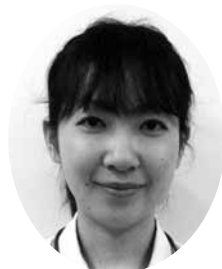
## ニューフェイス挨拶

4月を迎え多くの新たな職員を迎えました。代表して新採用職員にご挨拶、抱負などを語っていただきました。



中央手術室  
看護部  
落合 紗也

4月から横浜医療センターの看護師として手術室で働くこととなりました。手術室は一般病棟とは少し違い、実習でも経験することができなかつたため、新しいことへの挑戦意欲だけでなく不安も多くありました。現在は、研修を受けながら手術に使用する機械の名前や使用方法を覚えるなど、新しい知識が多くあります。また実際の手術につき、手術の様子や看護師がどのような動きをしているか、全体の流れなどを見学しています。まだまだわからないことばかりですが、どんなことでも優しく教えていただける先輩看護師を手本に、日々勉強を積み重ね成長していけるよう頑張っていきたいです。



薬剤科  
早川 香菜絵

はじめまして。今年度より薬剤科で勤務することとなりました早川香菜絵と申します。

薬学部6年制教育課程の一期生として今年の3月に大学を卒業し、薬剤師としての第一歩をこうして横浜医療センターで迎えられることを大変嬉しく思います。

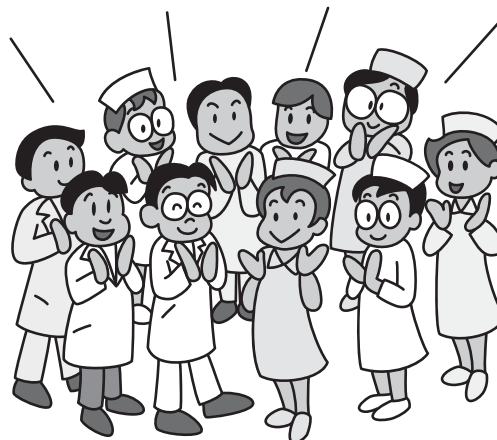
薬剤師としてまだまだ未熟ではありますが、おくすりに関することを通して少しでも皆様のお役に立てるよう、日々努力してまいりたいと思っております。また、私は、人との出会いは自分を成長させるために大切なことだと考えております。患者の皆様、地域の皆様、職員の方々と積極的に関わり、様々なことを吸収していきたいと思います。よろしくお願いいたします。



臨床検査科  
松島 麻衣子

早いもので臨床検査技師になってから3年目を迎えたこの春に神奈川病院から異動してきました松島です。経験不足で社会人としても未熟ですが、早く業務を覚え病院に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。皆様のお力をお借りしながら頑張りたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

よろしく  
おねがいします！



# 医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	発令年月日	発令	職名	氏名
H24. 4. 1	採用	循環器科部長	森 文章	H24. 3. 31	退職	精神科部	武川 吉和
H24. 4. 1	採用	リウマチ科部長	出口 治子	H24. 3. 31	退職	リウマチ科部長	雁我 芭義
H24. 4. 1	採用	精神科部長	古野 拓	H24. 3. 31	退職	麻酔科医長	山川 雅子
H24. 4. 1	採用	外科医師	三宅 謙太郎	H24. 3. 31	退職	外科医師	嶋田 和博
H24. 4. 1	採用	外科医師	土屋 伸広	H24. 3. 31	退職	外科医師	後藤 晃紀
H24. 4. 1	採用	外科医師	田 鍾寛	H24. 3. 31	退職	外科医師	行田 悠
H24. 4. 1	採用	外科医師	押 正徳	H24. 3. 31	退職	外科医師	森 康一
H24. 4. 1	採用	外科医師	小暮 悠	H24. 3. 31	退職	外科医師	堀井 伸利
H24. 4. 1	採用	救急科医師	望月 聡之	H24. 3. 31	退職	救急科医師	後藤 正美
H24. 4. 1	採用	救急科医師	大井 康史	H24. 3. 31	退職	救急科医師	内倉 淑男
H24. 4. 1	採用	救急科医師	早川 翔	H24. 3. 31	退職	救急科医師	中村 聖悟
H24. 4. 1	採用	救急科医師	古郡 慎太郎	H24. 3. 31	退職	呼吸器外科医師	正津 晶子
H24. 4. 1	採用	呼吸器内科医師	後藤 秀人	H24. 3. 31	退職	産婦人科医師	向田 一憲
H24. 4. 1	採用	呼吸器外科医師	李 相憲	H24. 3. 31	退職	産婦人科医師	大村 涼子
H24. 4. 1	採用	産婦人科医師	長谷川 瑛	H24. 3. 31	退職	循環器科医師	石田 一世
H24. 4. 1	採用	循環器科医師	森田 紗恵	H24. 3. 31	退職	小児科医師	山澤 隆二
H24. 4. 1	採用	循環器科医師	清水 邦彦	H24. 3. 31	退職	小児科医師	本井 宏尚
H24. 4. 1	採用	小児科医師	宮地 裕美子	H24. 3. 31	退職	小児科医師	檜佐 香織
H24. 4. 1	採用	小児科医師	内田 理	H24. 3. 31	退職	小児科医師	村田 宗紀
H24. 4. 1	採用	小児科医師	小堀 大河	H24. 3. 31	退職	小児科医師	釧持 孝博
H24. 4. 1	採用	小児科医師	中野 晃太郎	H24. 3. 31	退職	心療内科医師	森田 睦郎
H24. 4. 1	採用	小児科医師	山崎 真弓	H24. 3. 31	退職	精神科医師	安藤 豪
H24. 4. 1	採用	心療内科医師	浅野 さわこ	H24. 3. 31	退職	神経内科医師	遠藤 雅直
H24. 4. 1	採用	精神科医師	大橋 茉莉子	H24. 3. 31	退職	神経内科医師	中村 治子
H24. 4. 1	採用	精神科医師	内村 放	H24. 3. 31	退職	腎臓内科医師	岡田 瑠奈
H24. 4. 1	採用	神経内科医師	岡本 光生	H24. 3. 31	退職	整形外科医師	國府 秀俊
H24. 4. 1	採用	神経内科医師	齊藤 麻美	H24. 3. 31	退職	整形外科医師	藤巻 洋
H24. 4. 1	採用	腎臓内科医師	小宮 麻里子	H24. 3. 31	退職	整形外科医師	橋本 政敏
H24. 4. 1	採用	整形外科医師	瀧上 秀威	H24. 3. 31	退職	整形外科医師	杉元 紳太郎
H24. 4. 1	採用	整形外科医師	伊藤 りえ	H24. 3. 31	退職	脳神経外科医師	久保田 純一
H24. 4. 1	採用	整形外科医師	鈴木 宙	H24. 3. 31	退職	皮膚科医師	片山 智恵子
H24. 4. 1	採用	整形外科医師	川畑 武彦	H24. 3. 31	退職	麻酔科医師	大木 浩
H24. 4. 1	採用	糖尿病内分泌内科医師	小松 裕美子	H24. 3. 31	退職	麻酔科医師	三上 敦子
H24. 4. 1	採用	糖尿病内分泌内科医師	小西 裕美	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	富田 梨沙子
H24. 4. 1	採用	脳神経外科医師	畑岡 峻介	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	熊谷 茉莉香
H24. 4. 1	採用	皮膚科医師	屋代 正晃	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	李 相憲
H24. 4. 1	採用	麻酔科医師	古賀 資和	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	足立 祥子
H24. 4. 1	採用	麻酔科医師	住吉 美穂	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	廣瀬 朋子
H24. 4. 1	採用	麻酔科医師	林 映至	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	服部 純治
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	山浦 弦平	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	山崎 真弓
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	澤田 敦史	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	山本 悠史
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	土橋 裕一	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	畠山 慎也
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	小林 由幸	H24. 3. 31	退職	臨床研修医	清水 洋
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	野本 美智留				
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	木下 英幸				
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	本澤 大志				
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	山中 圭				
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	山田 淳貴				
H24. 4. 1	採用	臨床研修医	三浦 亜紀子				



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考		
外来受付 A	小児科	鍋木 陽一 河合 駿 山崎 真弓	菅井 和子 宮地 裕美子 内田 理	菅井 和子 中野 晃太郎 神垣 佑	鍋木 陽一 鈴木 剛 小堀 大河	福山 綾子 小林 慈典 平田 理智	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
	心臓血管外科 形成外科	盆子原 幸宏	手術日 村下 一晃	東館 雅文 手術日	東館 雅文 村下 一晃	東館 雅文 村下 一晃		
	整形外科	瀧上 秀威 川畑 武彦 鈴木 宙	日塔 寛昇 伊藤 りえ 日野 勝利	瀧上 秀威 門脇 純弘 鈴木 宙	日塔 寛昇 林 陸 伊藤 りえ	川畑 武彦 林 陸 門脇 純弘		※予約患者のみ。
			瀧上 秀威(※)			日塔 寛昇(※)		
外来受付 B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	▲: 紹介状持参の方のみ ■: 午後の予約のみ (循環器科新患当番医) * (月)第1・2[日中]・第3・4・5[岩出]	
	糖尿病内分泌内科	小松 裕美子 高木 佐知子	高木 佐知子	宇治原 誠	宇治原 誠	五百川 仁見		
	神経内科	菅原 恵梨子	齋藤 麻美	上木 英人	岡本 光生	高橋 竜哉		
	腎臓内科	松下 啓	小宮 麻里子	山名 比早子	松下 啓			
	呼吸器内科	後藤 秀人	検査日	山川 泰	検査日	榎原 基史 山根 章(肺結核)		
	消化器内科	▲交代医師(初診のみ)	塩賀 太郎(初診) 鈴木 大輔 ■小松 達司	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか ■小松 達司	交代医師(初診) 小松 達司		
	循環器内科	森 文章 内田 吉枝 初診:交代(*)	岩出 和徳 網代 洋一(午前) 初診:田中 直秀	田中 直秀	▲田中直秀(午前)	岩出 和徳 嵐 弘之		
	リウマチ科	出口 治子	宮城 瑠美子	検査日	宮城 瑠美子	出口 治子 ■宮城 瑠美子		
	外科	清水 哲也 土屋 伸広 小暮 悠	関戸 仁 松田 悟郎 押 正徳	松田 悟郎 三宅 謙太郎 田 鐘寛	関戸 仁 松田 悟郎 清水 哲也	急患のみ (交代医師) 三宅 謙太郎		
	呼吸器外科		石川 善啓 李 相憲		石川 善啓 李 相憲	坂本 和裕 李 相憲		
	脳神経外科	急患のみ (手術日)	宮原 宏輔	● 交代医師 脳ドッグ(※) 向原 茂雄	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫		
	外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸		佐々木 祐幸 手術日
眼科		清水 康平 木村 正彦 養 桂子	清水 康平 木村 正彦 手術日	清水 康平 木村 正彦 養 桂子	清水 康平 木村 正彦 養 桂子	手術日		
泌尿器科		本田 直康 津村 秀康 齊藤 典充	本田 直康 奥野 紀彦 齊藤 典充	手術日	奥野 紀彦 津村 秀康 齊藤 典充	本田 直康 笹本 治子 齊藤 典充		
皮膚科		屋代 正晃	屋代 正晃	手術日	屋代 正晃	屋代 正晃		
外来受付 D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査		
	精神科	浅野 さわこ	古野 拓	大橋 茉莉子	山口 和己	内村 放		
	産婦人科	長谷川 瑛	小笠原 良治	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦		
	産科	窪田 与志	長谷川 美美子	後藤 美緒	高木 偉博	長谷川 瑛		
専門外来 (他の医療機関からの予約制)	小児科	アレルギー検査 シナス(10~3月) (交代制) アレルギー(菅井) 感染免疫・アレルギー (小林) 慢性疾患外来	フォローアップ外来 (平田) 腎臓外来(長瀬) フォローアップ外来(福山) アレルギー(鈴木) アレルギー(鍋木) アレルギー(菅井) アレルギー(鈴木) アレルギー(小林)	アレルギー(菅井) アレルギー(鈴木) 予約接種(交代制) 13:30-14:30	フォローアップ外来 (福山) 1カ月健診 (交代医師) 1カ月健診 (交代医師)	アレルギー(宮地・内田) 神経外来(※) 循環器科外来(鈴木)	(※)第1,3,5週 本井	
	整形外科		スポーツ整形外科(林)			スポーツ整形外科(林)	毎週15:00~16:00 予約のみ	
	神経内科		頭痛外来 物忘れ外来					地域連携室を通して完全予約制
	糖尿病 内分泌内科	糖尿病連携バス外来						
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来				
	看護部			糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来	糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来			
	麻酔科	ペイン・緩和外来		ペイン・緩和外来 スキンケア外来(※)	ペイン・緩和外来 スキンケア外来(※)	ペイン・緩和外来		地域連携室を通して完全予約制
	耳鼻咽喉科			ヘルスメカ外来	乳がん検診 補聴器外来(午後) 睡眠時無呼吸 症候群外来			
	循環器科							
	精神科		物忘れ外来					初診には紹介状が必要。1日2名の予約制。
	産婦人科	助産師外来 母乳外来(午後) 母親教室(※)	助産師外来 母乳外来(午後) 母乳外来(午後) 母親教室(※)	助産師外来 母乳外来(午後) 母乳外来(午後) 母親教室(※)	助産師外来 母乳外来(午後) 母乳外来(午後) 母親教室(※)	助産師外来 母乳外来(午後) 母乳外来(午後) 母乳外来(午後)		(※)午後のみ。夫立会教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。
	放射線科	海津 久 注②		榎多 政治 注①	菅川 由美子 注①			※注① 9:00~11:00 ※注② 13:30~15:30

初診 受付: 平日 8:30~10:00  
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30~10:00  
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日~1月3日  
地域医療連携室(脳ドッグ受付)(TEL 045-853-2331)

急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。  
地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)  
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)  
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

